

発行
四国三十六不動霊場会
「かんまん」編集委員会

メール
sikoku36fudo@gmail.com

ホームページ
http://sikoku36fudo.org/

かんまん

題字：三宅 佳林

四国三十六不動霊場広報誌

目次

1P
行事案内・会長挨拶
弘法大師御誕生記念法会

2P
火祭り報告

3P・4P
寺院紹介・コラム
編集後記

コラム

お不動様とお大師様

現在の日本における不動明王信仰はお大師様が唐より持ち帰ったことから始まります。

遣唐船で苦難の中、帰朝されたお大師様のもとには一木作りのお不動様の像がありました。このお不動様の霊験は高く、尊像を船に祀って祈念したところ、荒れ狂う波を右手の剣で切り払い、たちまち海を穏やかにしたことになみ「波切不動」と呼ばれるようになりました。かの元寇の際にも前線に運ばれ、元の襲来を嵐によって撃退したといわれています。

また、お大師様は嵯峨天皇に進言されて、嵯峨離宮の中にお不動様をおまつりするお堂を建てられたり、初めてお不動様の法要を行って天下を泰平に導かれるなど、とてもご縁の深い仏様だったと言えます。

今年はお大師様ご生誕1250年記念と四国三十六不動霊場開設35周年記念の年となります。

世の中が目まぐるしく変化していく中、お大師様の御教えやお不動様の信仰が現在まで伝えられ、続いてきた意味とその真正さに改めて畏敬の念を感じます。

このような貴重な巡り合わせの年に、どうぞ皆様それぞれが不動霊場巡拝を通じて、信仰という羅針盤とともに歩んで行かれますようお願い申し上げます。



稚児大師

俱利迦羅剣

お不動様がその御姿を剣に変えた形として「俱利迦羅剣」があります。龍はインドのヨガでは活力の源の象徴とされ、欲や煩惱とも捉えられます。龍が巻き付いた剣は、炎に身を包み、一切の欲や煩惱を断つお不動様の「不動」の精神を表わしているようにも感じられます。

剣のような芯を持ち、精進していく大切さを教えてくださっているのでありましょう。



霊場会所蔵

編集後記

お大師さまの御教えは千年の時を超え、現在に至るまで、戦乱・災害・飢饉等の難事の中、人々の心の奥底に常に信仰の光を灯してきたのではないのでしょうか。現在においても様々な困難の中で生きていくには、心の

霊場会長挨拶

霊場会長 荒井 浩忍
(第二十三番 興隆寺院家)

薄桃色の雨が空を舞い地面を覆いつくし、心地よい風が肌に触れ春の訪れを感じると共に、時も少しずつ動き始めたように思います。

三十六不動霊場もまた新型コロナウイルスの影響で止まっておりました火祭りをやっとの思いで、弘法大師ご誕生1250年、四国三十六不動霊場35周年のありがたい年に執り行う事が出来ましたこと嬉しく思います。

火祭りを厳修するにあたってご尽力頂きました霊場会寺院様、普通寺様、先達様、参拝者様、お手伝いくださった方々に感謝申し上げます。

皆様の支えによって今回の火祭りが厳修できたのと同じように、日々の生活において人と人が支え合う事により、大きな挑戦が達成できたり自分の夢へ近づけたりと繋がり「縁」の大切さを身を感じさせる有意義な火祭りでの経験を霊場会共々忘れることなく、これからの活動に活かして参ります。

事務局

胸飾玉・念珠玉の親玉（不動玉）授与所は、令和2年10月より下記札所に変更となっておりますのでご注意ください。

第23番 極楽寺（霊場会事務局）
TEL 0897-59-0011
先達関係のお問い合わせ（補任・住所変更など）は下記までお願いします。

第2番 明王院（霊場会先達事務）
TEL 0883-35-3010

支えや芯となるものがあれば、ろうかと思えます。芯があれば、ブレても戻って参ります。生き方の支えとなる芯を、是非霊場ご巡拝とともに育まれ、堅固なものにして行かれることを願いながら、お大師様がお伝えくださったお不動様の信仰を皆様とともに歩んでいくことが大切であると改めて感じております。

皆様それぞれのお不動様のお話を是非お聞かせくださいませ。

「かんまん編集委員会」
三番最明寺・七番福性寺・十三番密厳寺

ご参加された皆様もこの貴重な経験を日々の生活に活かしてお過ごしくださいませ。

今回、ご都合が合わなかった皆様も次回の火祭りには是非ご参加ください。季節の変わり目で気温の変化が激しくなっておりますのでお体にお気を付けてお過ごしください。

合掌

弘法大師御誕生記念法会

- 参加費 二千元
(火祭り入壇料含む)
- 参加記念品(五百セット限定)
- ① 海岸寺誕生大師御影
 - ② 記念バッジ
 - ③ 木製御影
 - ④ 火渡り御幣



四国三十六不動霊場開創35周年 弘法大師御誕生1250年記念

四国三十六不動霊場公式キャラクター ふどくん

寺院紹介

第三十一番

おたらい山不動坊(海岸寺)

真言宗 醍醐派

海岸寺の前身は弘法大師(空海)出生の産屋跡と伝わり、弘法大師をとりあげ洗ったと伝わる産盥が残されています。このことから不動坊の建つ山を「おたらい山」と申します。

大同二年、唐より帰朝された弘法大師が、母である玉寄御前に会うためにこの地へ立ち寄り、海岸密寺を開創されました。

この間、弘法大師(空海)の甥(もしくは姪の子)にあたる若き智証大師(円珍)が弘法大師を慕って金倉寺の地より訪ねられ、風光明媚な屏風ヶ浦の光景を前に産湯を使う思いでみそぎを行ってご修行をされました。心洗われる思いとともに、前世からの悪因悪業が清められるの



を感じられ、後に霊障・業障を除く祈願を込められ不動尊を刻まれました。
この不動尊は「動物霊のつきものがよく落ちる」と古くから伝えられ、理由のわからない病気、人間関係がうまくいかない、良縁や子宝に恵まれない、実力が認められない等さわりがあるかと思われる方々の悩みを解消してきたことから「除障明王」の異名で呼ばれるようになりました。
栄枯衰退を繰り返しながらも昭和五十六年に改築されて以来、毎月二十八日に護摩祈祷が行われ、法話やくじ引きなど楽しみながら、ご参拝いただき、おかげを実感いただいております。
体調不良でお参りできない方やご遠方の方などは所定のお申込み用紙での護摩祈祷も承っております。ご希望の方はお電話にてお申込み用紙をお送りさせていただきます。



御盥山不動坊・戒光慧童子



相撲取が守る海岸寺山門



文殊堂からの景色



海岸寺奥の院絵巻(本坊・奥之院)

不動の火祭り

令和五年三月四日(土)に会場総本山善通寺(香川県善通寺市善通寺町三丁目3番1号)にて行いました。

新型コロナウイルスの影響により無参拝での開催が続いていた中、今年は今和元年の大祭以来4年ぶりの有参拝での火祭り大祭を開催することが出来ました。久しぶりの有参拝での開催という事もあり、準備段階から一同の気迫を感じました。

大祭当日は天候にも恵まれ、たくさんの方々にご参拝いただき無事成満の結びとなりました。

法要のライブ配信は行えませんでした。後日録画をYouTubeにて公開させていただきます。動画を通じて多くの方に不動の火祭りをご覧頂く事が出来たかと思えます。

最後に新型コロナウイルスの収束を心からお祈り申し上げますとともに皆様のご健康をご祈念申し上げます。

ご協力いただきました皆様、有り難うございました。

録画した動画につきましては、左のQRコードもしくは、URLにてご覧頂けます。YouTubeのチャンネルの登録もよろしくお願いたします。

火祭りの録画はこちら



<https://youtu.be/OMpE108xCJA>

チャンネル登録はこちら



「四国三十六不動霊場」で検索



火渡りの様子



集合写真



お砂踏み道場



柴燈護摩の様子



行道の様子